

将来の飛躍に向け、 力強く前進する一年にしよう！

社長 CEO
沖津 雅浩



新年あけましておめでとうございます。年末年始の休暇は、ご家族やご友人とゆっくりと充実した時間をお過ごしになられたことと思います。

昨年2025年は、5月の2024年度本決算で3年ぶりに最終黒字を達成するとともに、最重要経営課題のデバイス事業のアセットライト化をやり遂げることで、ステークホルダーの皆様への信頼回復に向けた第一歩を踏み出すことができました。さらに、「構造改革」から「再成長」へと歩みを進める中期経営計画を公表し、その後の第1・第2四半期では、2度にわたり業績予想を上方修正するなど、着実なスタートを切りました。加えて、こうした業績改善などを背景に、エンゲージメントサーベイの結果も毎回向上しています。

このように、2025年は、再成長に向けた確かな手ごたえを感じる一年となりました。これは間違いなく、社員の皆さん一人ひとりの努力の賜物です。改めて感謝します。本当にありがとうございました。

そして本年、中期経営計画の2年目を迎える2026年は、既存事業のさらなる強化に加え、新規事業の立ち上げを加速し、成長のギアを一段、二段と引き上げる一年にしたいと考えています。

具体的には、スマートライフでは、事業の高付加価値化やAIoT事業の強化を進めるとともに、B2B領域での事業拡大に取り組みます。スマートワーク

プレイスでは、M&Aも活用しつつITサービスを強化し、さらにロボティクス事業の拡大や衛星通信事業の立ち上げを加速します。加えて、EVやAIサーバーの事業化推進、さらには昨年12月に新設した「AI開発センター」を核に全社横断のAI技術開発を加速し、新たな事業創造や商品開発に繋げるなど、将来を見据えた挑戦を一層強化していく考えです。

社員の皆さん一人ひとりにおいても、従来のやり方にとらわれず、日々、改善や変革の意識を持って業務に取り組み、より主体的に新たな挑戦をしていただけることを期待しています。

この年末年始、テレビCMやWEB動画、交通・屋外広告などで放映された [コーポレートスローガン「ひとの願いの、半歩先。」の動画](#)はご覧いただけましたでしょうか。この動画でお伝えした「新しいシャープがはじまります」という言葉には、私たち一人ひとりが力を合わせ、これまでにない価値を生み出していくという強い決意を込めています。全員の力で、この2026年を、「新しいシャープ」を本格的に創り上げていく一年にしましょう。

最後になりますが、今年の干支である午（うま）は、古来より力強く駆け抜ける姿から「躍動」や「前進」の象徴とされてきました。この干支にあやかり、私たちも一丸となって、将来の飛躍に向け、これまで以上に力強く前進していきましょう。今年も一年間、どうぞよろしくお祈りします。